

## 令和6年度 事業報告について

令和6年度は、介護保険制度の改定、人材確保の課題、さらには災害発生への備えなど、多くの重要なテーマに対して一つひとつ丁寧に向き合いながら、質の高いサービスの提供を推進してまいりました。法人としての使命を再確認しつつ、職員一丸となって取り組んだ一年であったと振り返っております。本日は、事業計画に掲げた7つの重点項目に沿って、主な取り組みとその成果をご報告申し上げます。

### 【介護報酬改定への対応】

令和6年度の介護報酬改定に際し、法人内では役職者および各専門職を対象に改定内容の説明会を実施し、制度の理解と実践的な対応を徹底いたしました。コンプライアンスの遵守と加算要件への適切な対応を進めることで、サービスの質を維持しながら制度的変化にも柔軟に対応できる体制を整えました。また、全職員を対象とした法定研修も年間計画に基づき実施しました。

入居者のご家族に対しても、改定内容をわかりやすくまとめた資料を用いて説明を行い、ご理解とご協力を得ることができました。

### 【特定技能実習生の受け入れ】

令和6年3月より、タイからの特定技能実習生3名を新たに受け入れました。現在は業務にもしっかりと適応しております。採用から6ヶ月が経過した後には夜勤業務にも従事しております。日常業務への対応は概ね良好であり、現場でも前向きな評価が得られておりますが、一方で言語面におけるコミュニケーションには引き続き課題も見られるため、今後は日本語学習の支援を継続・強化してまいります。

### 【BCPの策定・強化】

災害や感染症の発生に備えた業務継続計画（BCP）を策定し、施設内での周知徹底を図りました。あわせてBCPに基づいた訓練も実施し、実効性の確認と職員の初動対応力の向上を目指しました。火災・地震を想定した避難訓練は年2回実施し、非常時の行動確認と手順の再点検を行いました。非常食や衛生用品などの備蓄品についても年3回の点検・補充を実施し、災害時に備えた備蓄体制を強化しております。加えて、一昨年に導入した非常用自家発電設備についても、定期的な稼働点検を実施し、万全の体制整備に努めております。

### 【地域包括支援センターの運営】

地域とのつながりを大切にしながら、地域包括支援センターでは以下の活動を展開いたしました。

- ・ 自立支援型地域ケア会議を月1回（年間12回）開催
- ・ 出前講座（介護保険制度、熱中症予防、百歳体操、認知症予防など）へ継続的に参加
- ・ 虐待相談、ヤングケアラー相談などを随時受け付け、関係機関と連携した支援を実施

- ・認知症キッズサポーター養成講座を開催し、子どもたちへの啓発活動を展開
- ・運営協議会を年2回開催し、自治会長・社会福祉協議会など地域関係者と意見交換を行いました

#### 【経営の安定化】

月平均入居者数は25.8名となり、稼働率の安定に努めました。年間の新規入居者数は7名、退居者数は9名であり、ベッドコントロールの徹底によって空床の最小化に努めました。待機者確保のため近隣の医療機関や介護事業所等への営業活動も行いました。

#### 【人材育成】

令和6年度は、介護職1名、看護職2名の計3名を新たに採用し、同年度内に8名の退職がありました。新入職員に対しては法人内での新人研修を実施するとともに、継続的なOJT指導を行い、業務への円滑な適応を図りました。また、働きやすい職場環境の整備にも取り組み、職員の定着率向上を目指しています。

#### 【サービスの質の向上】

入居者一人ひとりの状態やニーズに柔軟に対応するため、サービス担当者会議を定期的に開催し、ケアの個別性と継続性を重視した支援を実践してまいりました。また、状態変化への迅速な対応を目的に、ミニカンファレンスを必要に応じて随時開催し、職員間での情報共有と対応方針の確認を行いました。

#### 【おわりに】

以上のとおり、令和6年度は変化の多い社会環境の中においても、法人の安定的な運営と福祉サービスの質的向上を両立させることができた一年であったと自負しております。今後も地域に信頼される法人として、利用者一人ひとりの尊厳と安心を守る福祉実践に邁進してまいります。